

平成 19 年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞「奨励賞」



大谷 るみ子 (おおたに るみこ)

社会福祉法人東翔会グループホームふぁみりえ・ホーム長

1957 年 12 月 16 日生まれ

【授賞理由】

「認知症ケアに関する情報の共有・意識改革」「認知症介護現場の実践力および専門性の向上と人材育成」「地域への情報発信・啓発とまちづくり」という活動は認知症の人だけでなくだれもが生まれ育ったまちで安心して住み続けられるという理想の福祉を実践するものである。その活動に対し、本賞を授与するとともに、今後ますますの活躍を期待するものである。

【略 歴】

1979 年 9 月～1980 年 12 月	医療法人北九州病院 北九州中央病院
1981 年 3 月～1988 年 4 月	菊水町立病院
1989 年 1 月～1990 年 9 月	公立玉名中央病院
1990 年 10 月～	医療法人東翔会東原整形外科病院
2001 年 4 月～	社会福祉法人東翔会グループホームふぁみりえ
2001 年 11 月	大牟田市認知症ケア研究会設立(代表)
2002 年～	大牟田市地域認知症ケアコミュニティ推進事業の企画及び主管し、大牟田市内において「認知症でもだいじょうぶなまちづくり」を展開

【功績・社会貢献】

- ・ 向こう三軒両隣、隣組、小学校校区単位の身近なネットワークの構築・・・はやめ南人情ネットワークの設立と活動推進
- ・ 公民館、民生委員の機能の復活と地域資源の活用・・・大牟田市ほっと・安心(徘徊)ネットワークの構築、大牟田市全域、周辺また各地(滋賀県東近江、沼田市)へ広がる徘徊模擬訓練
- ・ 認知症をかくさず、恥じず、見守り、支える地域全体の意識向上
- ・ 子供のときから学ぶ、触れる機会をつくる・・・絵本「いつだって心は生きている」の作成と総合学習を活用した小中学校での絵本出前教室
- ・ 行政と地域の連携、推進者の育成・配置、介護現場の質の向上・・・認知症コーディネーター養成研修、もの忘れ相談医との協働による早期発見・予防・診断・支援にかかる地域認知症ケアサポート体制づくり